

福田 泰雄 (一橋大学名誉教授) 著

格差社会の謎

—— 持続可能な社会への道しるべ ——

四六判並製 224 頁 本体 1500 円

これまで新古典派ミクロ経済学を分析の基礎に置く主流派経済学は、格差の問題に対して、その解明と対策を示し得てこなかった。新古典派経済学は、他者の干渉を受けない「独立かつ対等な」個人・企業の集合体として資本主義経済を捉える。そこには権力、交渉力の強弱という概念は存在しない。こうした現実離れの仮定に基づけば、格差は個人の能力（生産性）、自己選択の問題とされ、格差対策の中心も教育による各個人の生産性向上に限定化されざるを得ない。

しかし、格差拡大の焦点は、ボトム層の問題ではなく、上位 1% への所得集中にあり、その集中の仕組みにある。そこにシステムの欠陥がある。一部独占資本への権力集中が、働きに応じた公正な分配を歪め、独占資本とその担い手に所得を集中する。その結果が格差と貧困拡大である。また、独占資本への権力集中は、農業エコロジーを破壊し、農業の持続性、フードセキュリティを脅かす。独占資本への権力集中と、社会および生命の持続性とは両立しない。それゆえ、この独占資本への権力集中に対する規制、解体がより良き社会実現の前提となる。（本書「はしがき」より）。

(主要目次)

第 1 章 格差拡大と独占資本

第 1 節 新たな格差社会

第 2 節 上位 1% の所得源泉

第 3 節 独占資本への所得集中

第 2 章 現代独占資本の権力

第 1 節 分配と権力

第 2 節 資本主義の発展と権力

第 3 節 現代の独占資本

第 4 節 市場制度の設計

第 3 章 独占レントと雇用破壊

第 1 節 労働分配率の低下と雇用破壊

第 2 節 雇用破壊の合法化

第 3 節 新自由主義政策と労使関係

第 4 章 独占的市場構造とレント搾取

第 1 節 サプライチェーンと中小企業

第 2 節 プラットフォーム独占と中小企業

第 3 節 独占資本と消費者

第 4 節 特許と独占レント

第 5 章 捕らわれの国家と独占レント

第 1 節 独占資本による租税回避

第 2 節 財政歳出と独占レント

第 3 節 民活政策と独占レント

第 6 章 新自由主義政策と日本の貧困大国化

第 1 節 拡大続ける貧困

第 2 節 ワーキングプアの増大

第 3 節 後退する社会保障

第 4 節 自己責任とされる教育、住宅

むすび

第 7 章 アグリビジネスと食料主権

第 1 節 アグリビジネスとフードシステム

第 2 節 食料主権の喪失

第 3 節 農業の工業化とその非持続性

第 4 節 工業型農業と食の安全

むすび

株式会社 創風社

東京都文京区本郷 4-17-2

振替 00120-1-129648

TEL 03-3818-4161

soufusha.co.jp

きりとり線

FAX 03-3818-4173

創風社刊
申し込み書

TEL 03-3818-4161

FAX 03-3818-4173

書店でご購入の場合、この用紙をお持ちください。

福田 泰雄

『格差社会の謎——持続可能な社会への道しるべ』

ISBN978-4-88352-269-9

本体 1500 円 () 部

創風社 図書目録 希望 () 部

取り扱い書店名